

研究タイトル:①持続可能な循環型社会構築を目指す総合的研究  
②地盤の形成過程および土質の工学的性質の解明



氏名:	吉村 優治 / Yoshimura Yuji	E-mail:	yuji@gifu-nct.ac.jp
職名:	教授	学位:	博士(工学), 技術士(建設部門)
所属学会・協会:	土木学会, 地盤工学会, 日本自然災害学会, 日本雪工学会		
キーワード:	土木工学, 森林整備, 地球温暖化, 3R(リデュース, リユース, リサイクル)		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> <li>・土質試験 : 土の物理的性質・工学的性質の測定, 推定</li> <li>・濃尾平野 : 濃尾平野の堆積環境・地盤強度の調査, 推定</li> <li>・リサイクル: 建設副産物のリサイクル</li> <li>・森林再生 : 森林整備と森林資源の有効利用</li> </ul>		

研究内容:

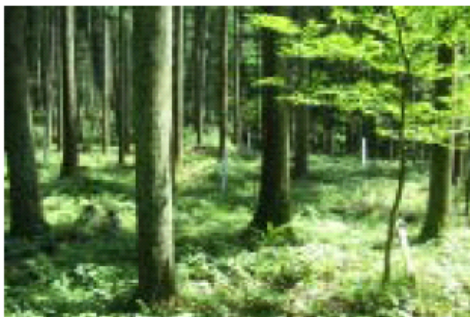
森林整備と森林資源の有効利用  
濃尾平野の研究  
土の工学的性質

森林整備と森林資源の有効利用

本来, 森林には水源涵養, 土砂流出防止, 生物多様性の保全, CO<sub>2</sub>の吸収などの機能がある。また, 日本の伝統的な風景「里山」は, 森林をはじめとする自然環境はこどもの遊びの舞台, 市民の憩いの場である。

わが国の森林割合は約66%, 本校の立地する岐阜県は81.8%で全国第2位, 本巣市は86%にも及んでいる。

本研究室では, 適正な間伐による森林整備, その森林資源の有効利用, 一般市民への啓発活動を通して, 森林再生を目指しています。

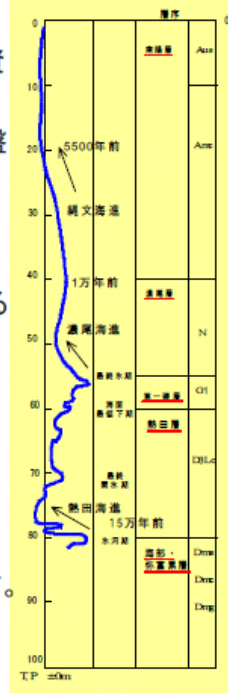


「森の健康診断」の実施

濃尾平野の研究

私たちが住んでいる濃尾平野は, わが国有数の沖積平野であり, 軟弱な地盤が広範囲にわたり深く分布している災害に危険な地域です。そこで, 濃尾平野ボーリング資料などに基づいて, 濃尾地盤の堆積過程や堆積時の環境の推定に関する研究を進めるとともに, 地震時の液化化判定, 構造物築造時の沈下予測など工学的諸問題の解明を行っています。

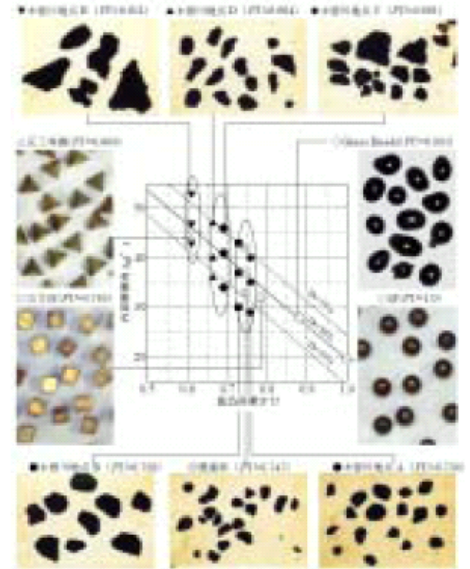
右図は臨海部の地層と海進・海退の様子。



濃尾平野柱状図

土の工学的性質

地盤を構成している砂や粘土は, 拡大して見れば個別の粒子の集合体です。一般土は, この粒子に空気と水が加わり三相混合体となり, その挙動は極めて複雑になります。この土の物理的性質や強度を簡単に推定する方法を模索しています。



粒子形状からの内部摩擦角の推定

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	
三軸圧縮試験機(株式会社)	
圧密試験機(株式会社)	